

# 投稿 いじめから、学んだ人生！ 河口徳夫

引きこもりは、横並びの価値観を捨てる「いっぽく」。

前号からの続き  
また、学校に相談に行く  
と、よく過保護とかマザコ  
ンとか意味もなく言われ  
いじめに遭う人間はマザコ  
ンだと決められていました。  
つまり当時は「平気で人  
をいじめられるようになれ  
ば、自立した人間だと」彼  
らは思っていたようです。

無益な価値観は捨てて、人  
生をやり直す「いっぽく」  
を  
ます。  
り直した方がいいと思いま  
す。当人だけではなく、親  
の方も頭を切り換えて、次  
の人生の更なる飛躍のス  
テップとして。

家族で一緒に出歩く  
ことは、みつともないと  
いう風潮があった。  
よく、親から、れて住  
んだ方がいいと言われる  
が、日本経済が傾き将来  
の社会保障も分らない  
時代に、親子が一致団結  
せず、この大変な時代を  
乗り切れますか。

引きこもりは、恥ずか  
しいとかみつともない事  
とも思いません。なぜな  
ら他人に一切迷惑をかけ  
ないのですから。世間体  
も気にすることはないです。  
高度成長期に金の卵とい  
われ集団就職した人々の半  
数が途中で脱落したという。  
終身雇用 年功序列の時  
代だが、実際には転職した  
り、中には家に一時いた人  
もいると思います。人生で  
は、けがや様々な理由で一  
次休憩、つまり「いっぽく」  
するの当たり前だと思っ  
てます。

生き方を探し出す千載一遇  
きこもり、やり直さなけれ  
ばならないことになったの  
だと思えます。「いっぽく」  
は、幸運だったと思えます。  
え直した方が、これからの  
時代有利だと思います。  
どうせ「いっぽく」した  
のだから、今迄の人生でし  
み付き、すり込まれた、無  
益な価値観は捨てて、本来  
の旅立ち」と、させていた  
（完）



# 旅立ち

全国引きこもり KHJ 親の会 (家族会連合会) 代表 奥山雅久  
第 12 号 発行日平成 15 年 1 月 12 日 事務局 〒339-0057 埼玉県岩槻市本町 1-3-3  
Fax 048-758-5705 ホームページ http://www.khj-h.com

## 新年おめでとうございます

代表 奥山雅久

### ヤマが動き出す? 「引きこもり対策元年」の夜明け

国会 厚労省 各自治体  
NHK等マスコミ、伝統仏教界等

引きこもり案件の歴史的ページ  
昨年十一月十五日に「国会引きこ  
もり対策議員連盟」が発足した。同  
十九日の、衆議院議員会館での議  
員主催の「home」上映会といす

## 神奈川県支部 設立へセミ

日時 平成十五年二月九日(日)  
時間 P M 1時から4時40分  
会場 横浜市開港記念館  
参加方法 直接会場受付  
参加費 2,000円  
講演 奥山雅久(全引連代表)  
「home」上映会  
体験談 大河原康雄(35才)  
主催 全国引きこもりKHJ  
親の会(家族会連合会)

今春にも引きこもり本格的対応ガイドライン  
さらに今春四月ごろには「引きこもりへの対  
応ガイドライン(本格的改訂版)」が厚労省より  
全都道府県に知らされる予定。  
ガイドラインの件等は、NHK番組「人間ゆ  
うゆう」で一月十六日(木)夜七時半紹介さ  
れる。  
さらに、二月二十二日には引きこもり二時間  
番組の特集が予定されている。  
引きこもり問題は全体で浮上してゆく案件で  
もある。全国の当該家族の団結で、引きこもり  
対策元年を前進させましょう!



★皆様のご要望を「国会引きこもり対策議員連盟」に!  
当会では、引きこもり案件に対する自由なご意見要望を議員連盟につなぎます。  
当会本部までお手紙 FAX をお届け下さい。(住所、FAX は上記「旅立ち」題字下に明記)

# 引きこもりで議員連盟が発足

# 解決へ大きな一歩

大きな社会問題になっているひきこもりに国レベルで対策を立てよう  
と、自民、公明、保守の与党議員ら 29 人が 15 日、「引きこもり対策議  
員連盟」を発足させた。同連盟事務局長に就任した本県選出の土屋品子  
衆院議員(自民、13 区)は「与党として政策をつくる目的を持って活動



本機関誌は、全会員及び、関係国会議員、厚生労働省、  
文部科学省、地方自治体の担当課、更にマスメディア、  
専門家やその他の関係者に配布送付されます。

協力 日本財団ボランティア支援事業

## 制度、予算具体的に対応

### KHJ「厚労省に対策課を」

約百万人ともいわれるひ  
きこもりは年々増加傾向に  
ある。厚生労働省は昨年五  
月にガイドラインを発表。  
行政として初めて本格的な  
対応に乗り出したが、専門  
の保健婦や医師などの養成  
は現場任せで、必要性が強  
調されている若者の居場所  
なども予算措置はとられて  
いない。  
今回、与党を中心に議員  
連盟ができたのは、早急に  
対策が必要とされるひきこ  
もりに問題に、制度や予算こ  
もりの議員の意向が働いたと  
みられる。

KHJ親の会はひきこも  
りに対策の民間団体として  
は全国最大の組織。当初  
は本県のみ小さな会だっ  
たが、今では三十一支部、  
四千人を超える会員を抱え  
ることからも、この問題の  
社会的な広がりやうかがわ  
れる。

同会の奥山代表は「厚労  
省にひきこもり対策課を設  
置してほしい。訪問サポー  
ト事業や家庭と社会の中間  
施設をつくるには予算的な  
裏付けが必要」と話す。  
衆議院議員(自民)は「与党  
中心であるからこそ、政策

に反映できる議員連盟にし  
たい。ひきこもりの背景に  
ある大きな問題に取り組ま  
ないと手遅れになる」と危  
機感をあらわにした。  
議員連盟の役員と県選出  
議員で総会参加者は以下の  
り(敬称略)。

▽会長 園田博之(自民)  
▽副会長 青山三三(公明)  
小池百合子(保守)▽事務  
局長 土屋品子(自民)▽  
幹事 馳浩(自民)池坊保  
子(自民)田中甲(無所属)  
▽本県選出議員(三ツ林隆  
志(自民、14区)大野松茂(自  
民、9区)小泉龍司(自民、  
11区)山口泰明(自民、10区)

協力 日本財団ボランティア支援事業

## 月例会に参加して気を楽しんだり情報交換しませんか

全国引きこもりKHJ親の会(家族会連合会)

- ☆親の会(月例会)問い合わせ先  
4.670 家族 12 月末現在 31 支部 (毎月 100 ~ 200 増)
- KHJ 本部 (埼玉県、東京都、神奈川県、千葉県、栃木県・群馬県、茨城県) 〒339-0057 埼玉県岩槻市本町 1-3-3 らうんじ内 Fax 048-758-5705 奥山 雅久
  - KHJ 東東京「楽の会」(東京都、千葉県、神奈川県) 〒170-0002 東京都豊島区巣鴨 3-4-4 Tel. Fax 03-3918-0655 池田 佳世
  - KHJ 西東京「 」暫定 (東京都、神奈川県、千葉県) 〒339-0057 埼玉県岩槻市本町 1-3-3 らうんじ内 Fax 048-758-5705 奥山 雅久
  - オレンジの会東海 (愛知県、三重県、岐阜県、近畿県) Tel. Fax 058-243-1056 (夜間) 例会会場 名古屋市女性会館 亀山
  - KHJ 東海なでしこの会 (愛知県、三重県、岐阜県等) 〒483-8337 愛知県江南市藤ヶ岡 4-1-1 江南団地 78-106 Fax 0587-52-4511 伊藤 進
  - KHJ 北陸会 (石川県、福井県) 例会会場 石川県金沢市県立女性センター 〒929-1215 石川県河北郡高松町高松ウ 17 栗田 いね子
  - とやま大地の会 〒930-0046 富山県富山市堤町 1-3-14 富山 YMCA 内 事務局 Tel. Fax 076-429-5886 事 務 局
  - 長野県さざんかの会 〒381-0104 長野県長野市若穂牛島 980-22 池田由美子
  - 京都オレンジの会 (京都府、奈良県、滋賀県等) 〒601-8328 京都市南区吉祥院九条町 15-1 西大道ガーデンハイツ 1104 稲垣 緑
  - 大阪オレンジの会 (大阪府、奈良県、和歌山県等) 〒614-8376 京都府八幡市男山竹園 5-114-403 和田 順子
  - 大阪高槻市オレンジの会 (大阪府、奈良県、滋賀県等) 〒569-0814 大阪府高槻市富田町 3-18-17 (丸糸ハイツ) 岸本 昌三
  - エスポワール (大阪) (本人 30 歳以上の会) 〒614-8366 京都府八幡市男山泉 5-17 木原 聡子
  - 神戸オレンジの会 (兵庫県) 〒652-0805 兵庫県神戸市兵庫区羽坂 4-2-22 Tel. Fax 078-515-8060 松井 勝也
  - KHJ 福岡県「楠の会」(福岡、佐賀、大分、長崎) Tel. 090-8222-7403 〒816-0079 福岡県福岡市南区南大橋 1-17-2 吉村 文恵
  - KHJ 高知県親の会 〒780-8050 高知県高知市鴨部 979-27 掛橋 繁則
  - 東北若者を援助する会 〒027-0051 岩手県宮古市南町 7-11 Tel. 0193-62-5899 Fax 63-8530 藤田 健
  - KHJ 宮崎県「楠の会」 楠田美紀子 〒880-0944 宮崎県宮崎市江南町 4 丁目 9-9 Fax 0985 (53) 2666
  - KHJ 宮城県「タオ」 Tel. 0229-69-5023 佐藤 傑 〒981-4400 宮城県加美郡宮崎屋敷 6-23-1
  - KHJ にいがた「秋桜の会」 Tel. 090-4525-9112 岸本 則明 〒955-0823 新潟県三条市東本成寺 14-4
- ☆会員増にもない県に枝分かれ検討中、☆他地区は会員増にもない、親の会を立ち上げ予定、それまでは会報発送します。
- ☆各サークルの月例会(月1回)の役割
- 同じ境遇の親同志での心おきない話し合い。自分達だけが引きこもり(すがり付、とり付)で苦しんでいるのではない、仲間が居るのだという実感。孤立感からの脱却→親の心の癒し→本人の言いつけ(気持ち)に対応できる良好循環へ
  - 問題に対する情報の交換(施設、専門医、カウンセリング、薬等)
  - 先輩会員の沢山の例を知る今後の自分達のこの問題に対する対応、心構えをつくってゆく
- ☆引きこもり KHJ 親の会の役割
- 情報の収集と検証(医療施設、専門機関、専門家、各種行政、マスコミ)
  - 不登校→引きこもり→すがり付→とり付の流れを、早い段階で対応すべく世間に警鐘をならしてゆく
  - 他県の同じ趣旨の会を立ち上げたり連携をとってゆく→全国組織化
  - 行政の対応や支援、制度化の対応を求めてゆく⇔(社会問題を起こしたり、本人の生涯に渡る永い状況は一家の対応を越えている)
  - 抜本的施設、「若者の居場所」「グループホーム」の設立と公的助成を
- KHJ 熊本県「楠の会」〒 (熊本、佐賀県、長崎県) Tel./ Fax 096-324-3068 武井 敬蔵 〒860-0072 熊本県熊本市花園 7-2435-12
  - KHJ 青森県「アップルの会」 Tel./ Fax 0178-88-5297 事務局長 川村 克彦 〒039-0208 青森県三戸郡階上町蒼前西 5-9-1634 サンハウス内
  - KHJ 岡山県「きびの会」 Tel. Fax 086-462-8859 〒701-0111 岡山県倉敷市上東 1244-9 能登 邦彦
  - KHJ 広島県「もみじの会」 Tel. Fax 082-567-7740 〒732-0056 広島県広島市東区上大須賀町 1-6-701 藤岡 清人
  - KHJ 鹿児島県「楠の会」 Tel. Fax 099-261-6857 〒891-0133 鹿児島県鹿児島市平川町 1103-9 浜畑 麗子
  - KHJ 静岡県「いっぽく会」 Tel. 090-5036-2552 Fax 054-641-8429 〒426-0025 静岡県藤枝市藤枝 3-9-7 神田 恵美子
  - KHJ 香川県(四国) Tel. Fax 087-841-7037 〒761-0113 香川県高松市屋島西町 2483-1 ダイバレス屋島 101 松崎 邦治
  - 山形県「サークル あすなろ」 Tel. 0238-23-4909 Fax 0238-23-4903 〒992-0026 山形県米沢市東 3-6-31 伊藤 正俊
  - KHJ 福島県 Tel. 024-944-0750 Fax 024-943-1686 〒963-8813 福島県郡山市芳賀 2-21-10 矢吹 孝志
  - いばらき「里芋の会」(OFA) Tel. 0297-42-1063 Fax 0297-42-7751 〒300-2706 茨城県結城郡石下町新石下 4503-1 朋友進学アカデミー内 菊池 芳明
  - KHJ 北海道「はまなす」 Tel./ Fax 01-23-42-0556 Fax 01-23-42-0557 〒066-0013 北海道千歳市柏台 1-3-1 千歳アルカディア、プラザ 4F 藤 シンクプロジェクト内 木村 榮治
  - KHJ 栃木県「ベリ一会」 Tel. 090-4247-2829 〒329-1105 栃木県河内郡河内町中岡本 4077 斉藤三枝子

# 考察

## 引きこもりの後はどうなるの？

この三年間毎日当会へ全国各地から手紙、ファックスが寄せられている。さらに最近では当会のホームページへのアクセス数が一日に600件、1000件へと引きこもり問題のすそ野の広さを実感させられる。

引きこもり当人たちはパソコンでインターネットをして外界とつながっている例も多いが、最近当人たちの間の問い合わせが増えてきている。

その中から印象的な長期の引きこもり五十歳前後の五名に共した内容を紹介します。要約すると、「私は二十五年(三十年以上)引きこもってしまった。逆にごまかして私の引きこもり状態を支えてしまった親をうらめしく殺意すら覚える。

私は五十歳くらいになってしまった。いったいどうしたらよいのだ...せめて親から離れて生活の場が欲しい。五十歳前後の私を受け入れてくれる施設を紹介してほしい。

これに比べて当会はやっと一つのグループホーム(有料)を案内することとした。しかしこのケース、親の年齢は八十歳前後である、金銭も心配である。と同時にこれは我々家族の百万軒の将来の



### 五十歳前後の引きこもり本人達からの問合せ

### 典型的な引きこもり家庭が再生していく 実録映画「home」をサポート

全引連KHJは引きこもりは、日時の経過とともに本人はもとより家族まで追い込まれていく実態とそこから見事に再生していく実録映画「home」を、その社会的意義にかんがみサポートしていくこととなった。

昨年12月28日「home」の小林兄弟、父親と全引連はこのことで協議した。



### 全国の家族会の動き 地区、県支部だよりを読んで



この一年たくさんの全国各地の地区、KHJ各県支部からの会報が本部にも寄せられている。

会が設立されてから半年〜二年以上とさまざまな活動が、各会の充実ぶりには驚かされるものがある。とても全部当機関紙に掲載されない内容の一部を列記してみよう。

- 支部(県組織)独自のアンケートの実施、自治体等へ陳情と一緒に提出。
- 月例会での講師の講演録を会報にて再現(当日これなかつた人にも読めるように) および、出席した全員への感想。
- 若者の居場所の創設、および若者のグループの行事の紹介
- 著名人のビデオや「home」の上映会
- 父親の会、飲みユニケーション行事の紹介(父親の対応も大きなカギなので)
- 県内の関連施設、若者の会との交換、活動内容行事の紹介
- 県会、市会議員のバックアップ。
- 時には例会の一部に地元音楽家たちのコンサートの挿入やクリスマス会
- ハイキング、芋煮会 施設(グループホーム)等の見学会の実施と予告。
- 会支援の専門家たちの個別相談の実施、訪問サポート士の養成講座。
- 県内にさらに支部を構築
- 公的機関の家族教室との交換
- 法人化

# きっかけ

## 訪問サポート士育成教本



各県に訪問サポート士派遣協会を！

引きこもりを抱える家庭はその長期化に伴い、二次障害へ移行しやすく、アリエルに陥り先の見えないエンドレスの親子になっていく。この閉塞状況を救うのが第三者の係わり、云わゆる当該家庭に外からの風を入れる必要がある。家族会その他、その代表的例が訪問サポートである。当会は埼玉県補助を受けこの「訪問サポート士育成ワークショッププロジェクト」を進行中である。

会の全国ネットの情報と引きこもり経験者による訪問サポート実例、全国の訪問手法、臨床精神科医、臨床心理士と大学院の協力を得て、最後の追い込み作業に入っている。

教本の完成する二月末後、まず埼玉県に提出。できれば厚労省、国会引きこもり対策議員連盟、全国各地の自治体に提出の上、自治体と民間が協力して教本を使い各地で「訪問サポート士育成講座」を開催してもらい、訪問サポート士の登録された訪問サポート協会が全国各県に誕生することを願うものである。

### 入門編、2月完成に向け進行中

## 好きなこと 引きこもり受け入れ企業 トリマー 整体師

**引きこもり脱却3つのキーワード**

きっかけ    タイミング   好きなこと

訪問サポート、旅等、様々    好きなことなら、サポートがあれば一生懸命やれる

危機感等で 本人が真剣に脱却を望む時

## きっかけ 参加募集、親本人 一緒に一人でも 高野山ミニ修行

高野山真言宗本山は引きこもりは日本人の心の問題であるとの観点から、支援の一貫として、第3回目の本人や家族受入れの行事を催行して頂ける旨を全引連KHJにご連絡いただいた。

京都の山田孝明さんと若者に打合せに行き、今月1月28日、29日に催行予定となった。

高野山ミニ修行で、癒され自信を戴こう。

内容は、座禅、経、くるま座のミーティングや歴史人物の墓石の居並ぶ2kmの散歩等。癒され、何かを感じるきっかけとなれば幸いです。

■Cさんのケース

当機関紙「旅立ち」の前号で紹介した引きこもりあと一歩の方の就学、就業の受け入れ企業の記事を見て、Cさんから母親を通じて当会に申し込みがあった。

受け入れ企業としてCさんをどう迎えたらいいか話し合った。Cさんの希望するトリマーの養成学校より直接お店で見習い就業をの意見で隣接する県の店で受け入れを整える事になった。



(株)メディカルヤマモトリフレッシュグループ

一週間後、長谷川仁氏からCさんが店長さんの知り合いということになり、少しずつ就業が始まりましたとのうれしい連絡をいただきました。

山本利幸会長の伝言として、ヤマモトリグループは専門学校(整体師、トリマー)、全国のお店で受け入れを整え、相談のりりますと、ありがたい話が届いている。

当機関紙をたまには当人に目見せておいてご応募下さい。

問い合わせ  
FAX 048(758)5705 埼玉県岩槻市本町1-3-3 当会本部へ

## 好きなこと 自分の好きなこと 発見(開発)のソフト開発へ



精神・神経関係の分野でも過去に先駆的実績のあるシンクタンク会社(株)シンクプロジェクトの木村榮治社長は「KHJの引きこもりナビゲートシステム」と銘打ち、引きこもりの自分の好きなこと発見開発・ソフトの開発に着手、KHJ北海道立山上七尾で奥山雅久代表の講演で、引きこもり脱却の旗が目印です。

却家族からの、本人の好きなことが脱却の手掛かり、よすがになっていくとの話し、同支部事務局長として参画して開いた木村社長は、その開発動機のひとつにあげている。

同社では、このソフトは必ず引きこもりの若者たちの福音になるとの信念で企画・立案に現在全力を注いでいる。

こうした多くの社会的理念を有す人物、団体と私たちKHJ家族が全国で広く手を結び、大きな力とすることが極めて重要であるというひとつの実例といえる。

催行日 1月29日(火)、30日(水)の2日間 延泊可

参加費 5,000円(延泊は一泊に付5,000円3食付)と各自の交費

集合場所 東京駅「銀の鈴」AM8:00  
大宮駅 コンコースの「まめの木」AM7:00  
大阪難波駅 南海電鉄3F改札口PM12:20

申込方法 KHJ本部 FAX: 048(758)5705  
〒339-0057 埼玉県岩槻市本町1-3-3

1月25日迄にFAXか郵送で人数、お名前、住所、TEL、本人か家族か一緒に記入の上お申し込み下さい。

コンダクター 奥山雅久、山田孝明予定

**ホームページ**

アドレス <http://www.khj-h.com>

案内

- メッセージ
- 全引きこもりの統計
- 引きこもりの分類
- 本部・支部
- 設立目的
- KHJの動向
- 引きこもりのQ&A
- 引きこもりの分類
- 月例会
- 掲示板

### 「引きこもりナビゲートシステム」